

---

# とどかない空より、近くにいるキミ。

寿々

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

とどかない空より、近くにいるキミ。

### 【コード】

N5098B

### 【作者名】

寿々

### 【あらすじ】

やちると日番谷の、ほのほのブリーチファンフィクション小説。空にはとどかないけど、近くにキミがいるじゃない。

とどかない。

あの青い空には  
どうあがいても  
とどかないんだ。

あたしの、カじゃ

「ねーひつつん。どーしてお空は青いの？」

やちるは、日番谷にこう質問した。

「はぁ？知るかなもん」

日番谷は、やちるにこう答えた。

遠い遠い空は、まるで俺を見下しているよう。

青い青い空は、まるで俺をあざ笑っているよう。

とどかないんだ。

その天高い空には。

「ひつつん！ちょっと待ってて！」

いきなりそういうと、やちるはぽーんと宙に飛んで、見えなくなっ  
た。

するとすぐに、ひゆるると風を切って、落ちてきた。

片足でぼんと着地する。

「何してんだ……」

「お空ね。とどかないの。あたしの身長が、ちっちゃいからかな？」

馬鹿かコイツは、と日番谷が呆れた目でやちるを見た。

真剣なまなざしで、空を見上げる。

「空にとどくわけねーだろ」

「わかんないよ！もしかしたら……」

やちるはじいっと空を見上げた。

とどかなくて、少し涙が出た。

見えるのにとどかない。声もきつと、聞こえない。

そんなの……やだよね。

「ひつつんがね、もし大切な人が居るとするじゃん？そんで、その人は見えるのにとどかないって、哀しいよね」

日番谷は草むらに座った。

やちるもぼんと草むらに寝転がった。

そよそよと、風が二人をいとおしそうに撫でる。

「お前は……いんのか？大切な人」

近くにあった花をぶつりと取り、それを指でまわしながら

「いるよ」

と短く答えた。

「誰だよ……」

「決まってるじゃん。剣ちゃんだよ！」

「ひつつんも、大切な人だけどね」

にこつと笑う顔は、やっぱりまぶしかった。

「俺も、お前が大切だよ」

空にはとどかないけど、

空と一緒におしゃべりできないけど、  
君と一緒にいられたら

それだけで、嬉しいじゃん？あたし、そう思うの。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5098b/>

---

とどかない空より、近くにいるキミ。

2010年10月9日15時49分発行